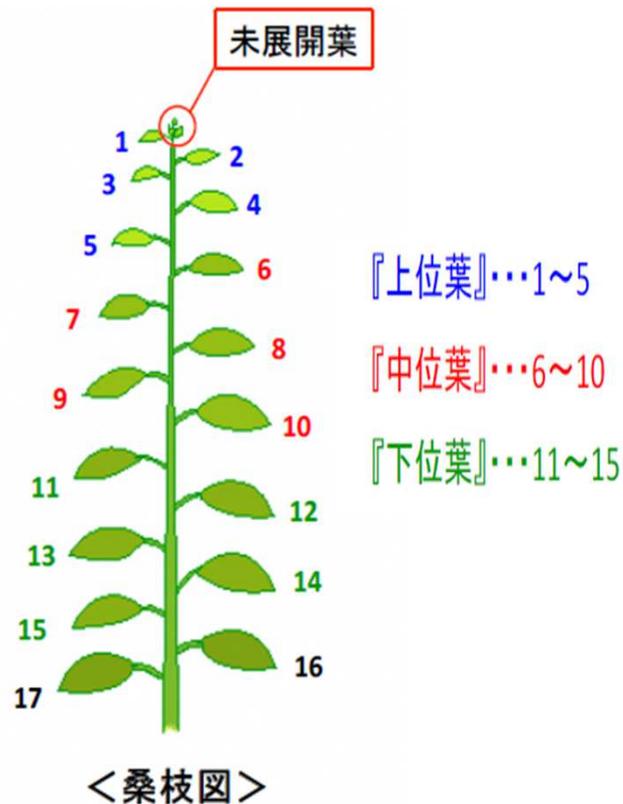


# 平成28年度研究結果

## 月別・部位別の1-DNJ含有量および $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害率について



①1-DNJ含有量は枝条先端部で高く、下部になると低い。

②全部位において、5月から9月にかけて含有量が高い傾向にある。

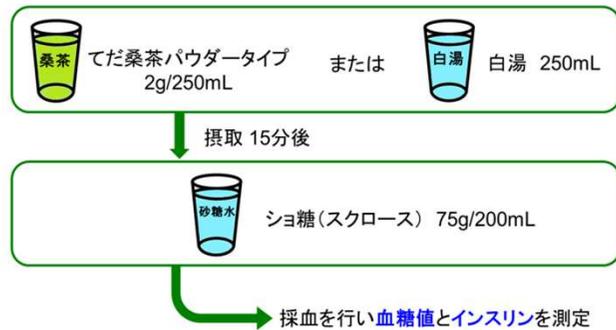
③季節毎に1-DNJ含有量に変化が生じてても、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害率はほぼ横ばいに推移している。

⇒1-DNJ以外の物質も $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害に比較的強く作用している

# 平成28年度研究結果

## 桑茶パウダーヒト試験 成果報告

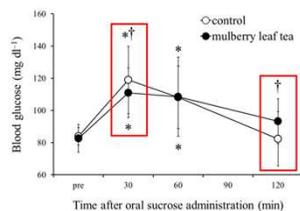
### 方法



・桑茶摂取が食後の血糖値上昇を抑制するか否かを検証することを目的とし、ヒト試験を行った。

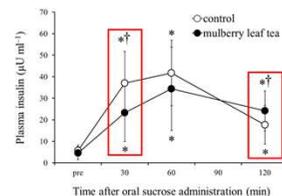
・本試験結果から、桑茶摂取により食後の血糖値上昇を抑制できるとともに、インスリン分泌を節減できる可能性が示唆された。

結果：血糖の経時変化



\*:pre値との有意差を示す。†:条件間の有意差を示す。

結果：血漿インスリンの経時変化



\*:pre値との有意差を示す。†:条件間の有意差を示す。

※平成28年度 沖縄工業高等専門学校 総合科学科 久米大祐  
沖縄工業高等専門学校 生物資源工学科 伊東昌章  
島尻キンザー前クリニック院長 島尻佳典